

## Student's Voice

## 公衆衛生を体系的に学べる場所

高橋永知さん  
公衆衛生学研究科

アパレル店で働いていた時、青年海外協力隊出身者が偶然来客し、わずか15分話ただけですが、「こんな仕事があるのか」と心惹かれました。そして途上国で生かせる専門性を身に付けようと看護学校に通い、その後協力隊でウガンダに。現地ではHIV/エイズの感染防止対策などに取り組みましたが、住民への啓発など社会的な側面を含めて取り組んでいくための知識がないことを痛感し、帰国後、疫学や統計学など公衆衛生に関して体系的に学べるこの研究科に入学しました。1年コースのため、とても忙しいですが、多様なバックグラウンドを持つ学生と議論する機会が多く、充実した時間を過ごしています。将来は開発コンサルティング企業やNGOなどで、途上国の現場で仕事をしたいと考えています。

## Point in Check!



## 1 MPHは国際機関へのパスポート

公衆衛生学修士号「MPH (Master of Public Health)」は、保健医療分野の専門職の学位として国際的に評価されている。

## 2 世界の公衆衛生界と連携

ハーバード大学をはじめ、イギリスや中国、東南アジアの大学と連携し、教員や学生の交流を積極的に推進。写真はAPACPH (アジア太平洋地区公衆衛生学校連合体) の総会。

**School Data** 取得可能な学位: 公衆衛生学修士(専門職)  
定員: 20人 開講形態: 平日昼  
奨学金: あり  
主な進路先: 国際機関、NGO、NPO、行政機関(地方自治体、保健所など)、大手企業の健康管理センター、開発コンサルティング企業

**Access** 住所 ● 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1  
URL ● [http://www.teikyo-u.ac.jp/graduate\\_school/mp/](http://www.teikyo-u.ac.jp/graduate_school/mp/)  
交通 ● JR埼京線十条駅北口より徒歩約10分

## お問い合わせ

TEL 03-3964-3294 (直通)

FAX 03-3964-8415

E-mail [tsphgakui@med.teikyo-u.ac.jp](mailto:tsphgakui@med.teikyo-u.ac.jp)

ポートを受けることができる。加えて、毎年1月にハーバード大学の教授を招いて開講される特別講義は、著名な教授と議論を交わす貴重な機会にもなっている。

**実践力を磨く「課題研究」**

さらに、実践を重視する専門職大学院ならではの科目として「課題研究」を行っている。これは学生自らが問題意識を持つ特定の保健衛生関係の問題について、具体的に分析して解決策を報告書にまとめるという修了時に必須の課題だ。一人の学生に対し、同研究科に所属する全ての教員が多面的な視点から審査や指導に関わるゼミ方式と、専属の指導教員によるマンツーマン方式の両方の指導により実務的な問題解決能力と研究手法を身に付けられる。

コースの期間は通常2年だが、公衆衛生分野での現場経験を積んだ学生は1年で修了することもできる。また、医療分野の経験が全くない学生でも入学が可能で、基礎から学べるカリキュラムが用意されている。井上まり子講師は「公衆衛生は保健医療にまつわる環境や行動科学、社会経済状況などさまざまな問題と深く関わっている。ぜひ幅広い分野の人にこの大学院に来てほしい」と語る。



学期末のプレゼンテーションでは活発な議論が交わされる

世界で活躍する公衆衛生の実践者を育成  
帝京大学大学院

Teikyo University, Graduate School of Public Health

## 公衆衛生学研究科(専門職大学院)

世界で通用する修士号取得

帝京大学は1993年以来、米ハーバード大学と共同でシンポジウムを開催するなど交流を重ねている。そこで培われた教育手法と研究成果を体系化し、公衆衛生の諸課題に問題解決型アプローチができる高度専門職業人を養成することを目的に、2011年4月開校されたのが公衆衛生学研究科だ。同研究科は米国の全米公衆衛生教育協会(CEPH)の認定基準に準拠し、「疫学」「生物統計学」「行動科学・健康教育学」「環境衛生学・産業保健学」「保健行政学・医療管理学」の5分野を学べるカリキュラムを提供しており、世界で通用する公衆衛生学修士号「MPH (Master of Public Health)」の取得が可能だ。

また、独立した専門職大学院であるため、欧米の公衆衛生大学院(School of Public Health, SPH)同様、学生は講座の枠を気にせず、全分野の教員からきめ細やかなサポートを受けることができる。

## Professor's Voice

公衆衛生学研究科  
井上まり子 講師  
Mariko Inoue